

はじめて勉強会を運営して学
んだこと

Rails Developers Meetup 編



秒速@284km

TokyuRuby会議11 #tqrk11



秒速@284km

- ・好きな飲み物： Five mugs of beer emoji, each filled with golden beer and topped with white foam.
- ・Rails Developers Meetup 運営
- ・feedforce エンジニア

Rails Developers Meetup

長いので以降は

railsdm

と言います

railsdm とは



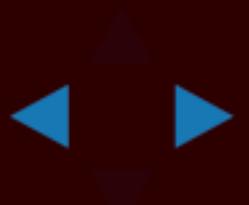
Concept



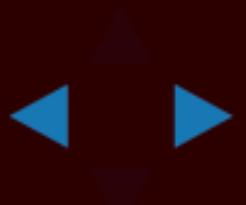
第一線で活躍する
開発者や企業から



知見を学び



現場で活かせる
考え方やテクニック
を得る非営利勉強会



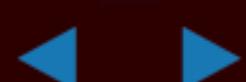
A dark, atmospheric landscape featuring a large elephant on the left, a giraffe on the right, and a police car in the foreground. A road sign with the word "Policy" is mounted on a pole between the elephant and the car. The scene is set against a backdrop of dark clouds and a green hillside.

Policy

所属企業と地域の 枠を超えた 技術コミュニティ



日頃お世話になつてゐる
OSSへの恩返し



特定の企業の利益を
優先しません



何のコネもない
開発者様・企業様へ



唐突に登壇
依頼をする
無謀な運営方針



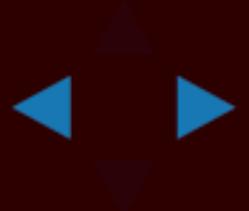


@yoshi_hirano

登壇者が見つか
なくなったら
その時点で...



即終了



参加者が来て
よかったですと思えて



運営者も
参加したくなる
勉強会を目指します



みたいなやつ

5月
18

Rails Developers Meetup #1 (東京会場)



第一線で活躍するRails開発者・導入企業から技術的な知見や気づきを得る勉強会



Rails Developers Meetup

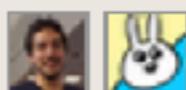
2017.05.18

ハッシュタグ : #railsdm

◀ フォロー参加者



★ フォローブックマーク



募集内容

一般参加枠 (先着)

無料

先着順

19/20人

一般参加枠 (抽選)

無料

先着順 (抽選終了)

9/10人

6月
22

【増枠】Rails Developers Meetup #2 (東京会場)



第一線で活躍するRails開発者・導入企業から技術的な知見や気づきを得る勉強会

RAILS DEVELOPERS MEETUP

2017.06.22
@DRECOM

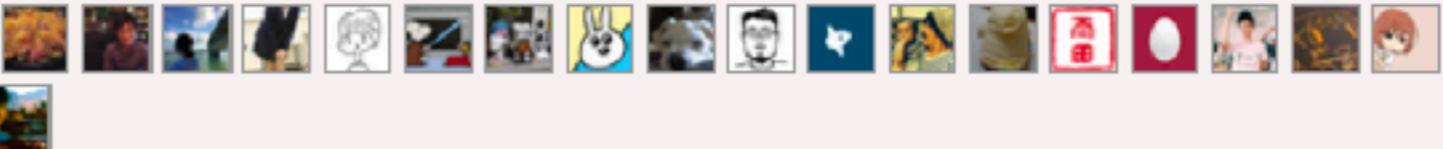
2nd

KEYNOTE SPEAKERS FROM



ハッシュタグ : #railsdm

フォロー参加者



フォロープックマーク



募集内容

一般参加枠

無料

先着順

134 / 100人

LT参加枠

無料

先着順

2 / 2人

リモート参加枠 (遠方の方のみ)

無料

先着順

10 / 10人

主催：Rails Developers Meetup 実行委員会

Rails Developers Meetup

第一線で活躍する開発者・企業から知見を得る勉強会

2017.07.20 at Speee Lounge

Open 19:15 / Start 19:30



— KEYNOTE SPEAKERS —



伊藤 浩一さん
株式会社Speee
シニアリーダー



中村 涼さん
フリーランス



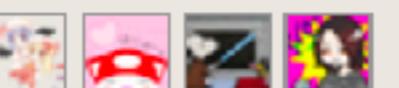
森岡 周平さん
株式会社Speee
基盤開発部・ヌリカエ

ハッシュタグ : #railsdm

◀ フォロー参加者



★ フォローブックマーク



募集内容

一般参加枠

無料

先着順

104 / 60人

招待参加枠（過去に登壇した方限定※LT含）

無料

先着順

3 / 3人

クロージングスライドで地域 Ruby コミュニティの宣伝を したり

- shinjuku.rb
- meguro.rb
- step-to-rails-expert.rb
- RubyKaigi のチケット買ってね
- エモリハウス
- などなど… 受付中。

たのしい (全部揃って)

- 登壇者
- スポンサー
- 運営
- 参加者

大变

準備でやること(毎月)

- ・登壇者の確保
- ・会場の確保
- ・募集告知の作成
- ・資料準備
- ・当日の持ち物は忘れずに
- ・司会進行
- ・受付
- ・撮影
- ・イベント翌日のまとめ

けっこう大変

たのしい
(いまのところ)

ずっと楽しい
方がいい

毎回の改善が必要

ふりかえりをする時間も足り
なかつたり。
みんな仕事をしている。

やりながら改善

ふりかえり KPTのP railsdm/meetup

- ・マイク1本でやると厳しい（質疑応答で走り回ることになる）
- ・音響機材の事前確認が漏れてた
- ・発表者のマイクとの距離（声の大きさ）を伝えるカンペ的なのがあった方がよい？
- ・拍手をリードしたりする必要が稀にあるが、司会をやりながらだと厳しい
- ・当日の通知が多いので channel を分けよう。
- ・当日その日専用の slack channel があるとよさそう
- ・写真撮影がほとんど出来ていなかつた…。
- ・Wifi 接続情報をオープニングのスライドに載せた方が良い。
- ・Wifi 接続情報は会場内の目につく場所に貼ったりした方が良い
- ・受付を設けると、受付かかりは最初の方の発表は聞けなかつたり悲しみ。
- ・リモート側の質問が東京会場の端まで聞こえない。またその逆。
- ・実施中の twitter ハッシュタグの確認が余裕なくてできなかつた

KPT (Try)

- ・マイクは2本用意しよう
- ・スピーカーの響き具合は事前確認に追加しよう
- ・オープニングの説明にスクリーンが見えない声が聞きづらい場合の席の移動を追加しよう。アナウンスしよう
- ・オープニングのスライドに Wifi 接続情報を載せよう
- ・Wifi 接続情報は全員に見える箇所に貼ろう
- ・クロージング説明に、忘れ物チェックしてねを追加しよう
- ・過去に Speaker をやってくれた方は優先参加できる仕組みがあってよさそう
- ・可能なら発表が見える位置に受付を設ける
- ・可能なら受付自体なくしてしまう
- ・司会を持ち回りにしてサポートできる状態を作ったり
- ・当日専用の Slack channel を作ったり
- ・やらなくていいことは積極的にやめて、大事なところに注力する

勉強会を運営している方
これから運営される方の助け
になれば幸い。
なるべく楽に実施できるよう
に、助け合ってやっていきたい。



railsdm #4

8/24